令和７年度

市川市災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました



日 時：令和７年１０月３１日（金） 9:00～11:30

メディアパーク市川にて、市川市災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。今年度の訓練は、災害時協力協定団体の、市内ライオンズクラブ、日本郵便株式会社、市川市ボランティア協会、市川災害ボランティアネットワーク、市川市役所、千葉県社会福祉協議会、近隣市社会福祉協議会、市内各地区社会福祉協議会の方など、総勢８７名で実施しました。



参加者全員集合



導入編：災害ボランティアセンターについて理解を深めるための講義

市川市災害ボランティアセンターとは

市川市内で大規模災害が発生した場合、市川市社会福祉協議会が中心となり、「市川市災害ボランティアセンター」を立ち上げます。
被災者のニーズを把握し、全国から駆けつけるボランティアの受け入れや、ボランティアを調整、派遣する役割を担います。



本部・緊急対策会議



ボランティア受付

訓練：第１部

本部訓練では、緊急対策会議を実施し、被災状況の報告と防災無線の訓練を行いました。総務・ニーズ受付班の訓練では、被災者役からのニーズを電話で受けて、新システムのキントーンに入力するという初めての訓練を行いました。
参加者の多くは、ボランティア役を担っていただきました。ボランティア受付を各自のスマートフォンで実際に入力・登録していただきました。



マッチング・送り出し



訓練講評・閉会式

訓練：第２部

「災害ボランティアセンター体験ツアー」として、ボランティア役となった参加者は各コーナーをまわり「ボランティア受付班」から「オリエンテーション班」を経由して「マッチング・送り出し班」で具体的活動内容や行き先を確認。「資材貸出班」で資機材を借りて「被災地」へ赴く。ボランティア活動を終えたら「活動報告班」に報告。一連の流れの訓練（模擬体験）をしていただきました。

今回は風水害を想定した訓練で、「家屋内の片付け」、「避難所での物資の仕分け」などの依頼に対し、駆けつけたボランティアを派遣調整する模擬訓練とその体験が実施できました。

参加者からは、「災害はいつどこで起きるかわからないので訓練に参加できて大変勉強になった」「今日は団体の代表としての参加であったが、今後はもっと多くの人に参加を呼びかけたい」「キントーンの導入は良かったが、マッチングから活動報告まで一連の流れで活用ができれば更によかった」など、様々なご意見をいただきました。



今回の訓練で得られた課題を改善して、実際に起きた時に備え活かしていきたいと思います。
早朝よりご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

